

3877

SAICNJI-HARADA MEMOIRS

Chapter 260 (19 January 1937)
8

When I spoke to the Foreign Minister by phone on the 18th morning, he said: "As the Chinese Government failed to accept the proposal (determined by the Japanese Government), the Council held in the presence of His Majesty arrived at a decision to launch into the alternative plan." [The foregoing was related to the German Ambassador and his reply was: "To be sure, there is nothing more that could be done under the circumstances. I shall explain it in details to the Ambassadors and Ministers of all nations."]

西園寺原田日記十三年一月十九日 二百六十回

十八日の朝電話で外務大臣と話した處が「御前會議は結局支那の政府が
乗つて來ない爲に第二段の策に決定した。でドイツの大使に其話をした
處が「尤もだ、あれ以上の事は到底出來ない。自分は各國の大公使にも
よく由來を説明して置かふ」と云ふ話であつた。

正 誤 表

辯護側文書	三〇一五	A	第二頁第一行「大使の話した」は「大使の話した」の誤り
辯護側文書	三〇一六		第三頁第四行「尙廣田外務大臣」以下終り迄削除の事
辯護側文書	三〇一七		第三行「昨日外務」より十二行目「政府として因る」迄削除
日附	「十二年十二月六日」		は「十二年十二月七日」の誤り
同	「二百五十七回」		と記入すること
辯護側文書	三〇一八	A	和文本文第一行「十八日の朝」より第二行「共に決定した」迄削除 朗
辯護側文書	三〇一九	C	護せず
日附	「九年八月二十日」		は「九年八月二十日」の誤り
同	「百四十六回」		は「百四十五回」の誤り
第三行	「草議案に」		の「に」を削除の事
第三行	「實現」		の誤り